

平成 30 年度

第 3 回青少年意見募集事業結果

テーマ

若い世代の困りごとの相談先と法テラスについて

(提案元 : 法務省)

意見受付期間

平成 30 年 9 月 18 日 (火) ~ 10 月 8 日 (月)

平成 30 年 10 月

主に自由回答形式の質問に対する回答を、回答の要点ごとに分析して集計し、分類ごとに主な意見を掲載している。意見の掲載に当たっては、必要に応じ、要約している。

第 3 回 若い世代の困りごとの相談先と法テラスについて（法務省）

1. 設問

- 質問 1 - 1 学校、職場、アルバイト先等でトラブルがあった場合に、親・友人以外に誰（又はどういうところに）に相談しますか。
（その他と回答された方）具体的に、誰またはどういうところに相談していますか。
（誰にも相談しないと回答された方）相談しない理由があれば教えてください。
- 質問 1 - 2 学校、職場、アルバイト先等でトラブルがあった際に、親・友人以外にどのような手段・場所があれば相談しやすいですか。
- 質問 1 - 3 学校、職場、アルバイト先等でトラブルがあった際に、親・友人以外にどのような人がいれば相談しやすいですか。
- 質問 2 - 1 「法テラス」を知っていましたか、または聞いたことがありましたか。
- 質問 2 - 2 （名前は知っていた・聞いたことがあった／どんなことをやっているか知っている）と回答された方）「法テラス」をどこで知りましたか。
- 質問 2 - 3 （名前は知っていた・聞いたことがあった／どんなことをやっているか知っている）と回答された方）「法テラス」のイメージを教えてください。
- 質問 3 「法テラス」を同年代の若者により広めるために、広報活動にどのような工夫が必要だと思いますか。「法テラス」を知らなかったみなさんは、どのような手段であれば「法テラス」について知ることができたと思いますか。
- 質問 4 - 1 どのような方法であれば法的なサービスを利用しやすいと思いますか。
- 質問 4 - 2 上記以外に、あれば利用しやすいと思うサービス・制度を教えてください。
- 質問 5 「弁護士」や「司法書士」といった、「法律の専門家」に対するイメージを教えてください。
（その他と回答された方）その他のイメージを教えてください。
- 質問 6 - 1 困ったことがあったら、法律の専門家である「弁護士」や「司法書士」に相談してみたいと思いますか。
- 質問 6 - 2 上記を選択した理由を教えてください。

3 平成 30 年度 第 3 回青少年意見募集事業結果

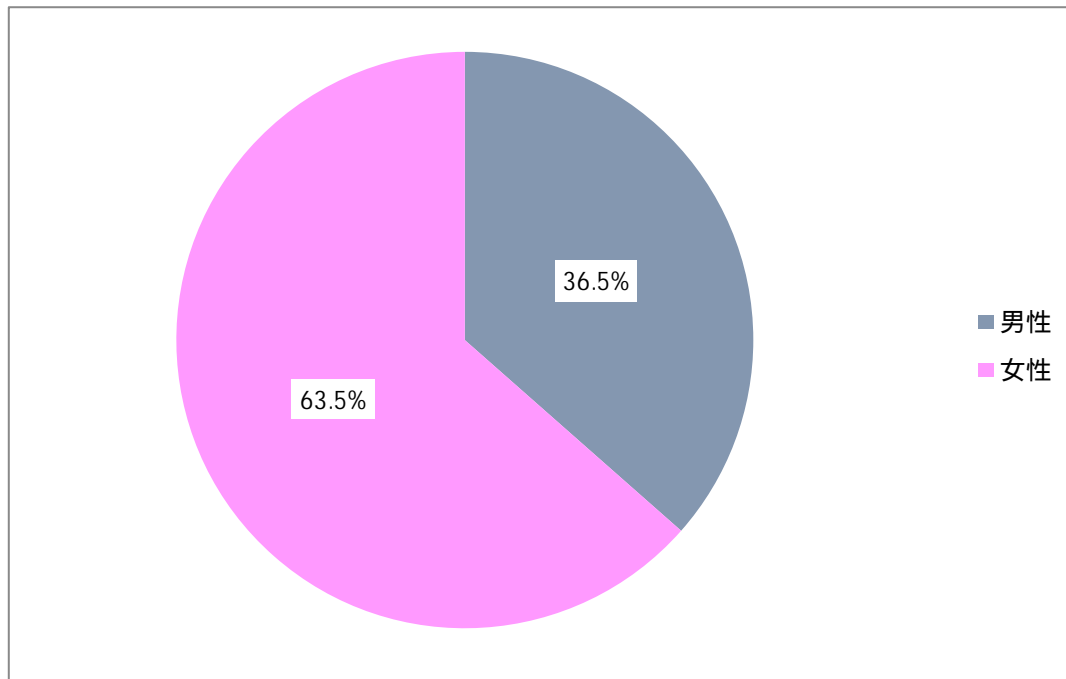
2 . 意見受付期間

9 月 18 日 (火) ~ 10 月 8 日 (月)

3 . 回答者数・回答属性

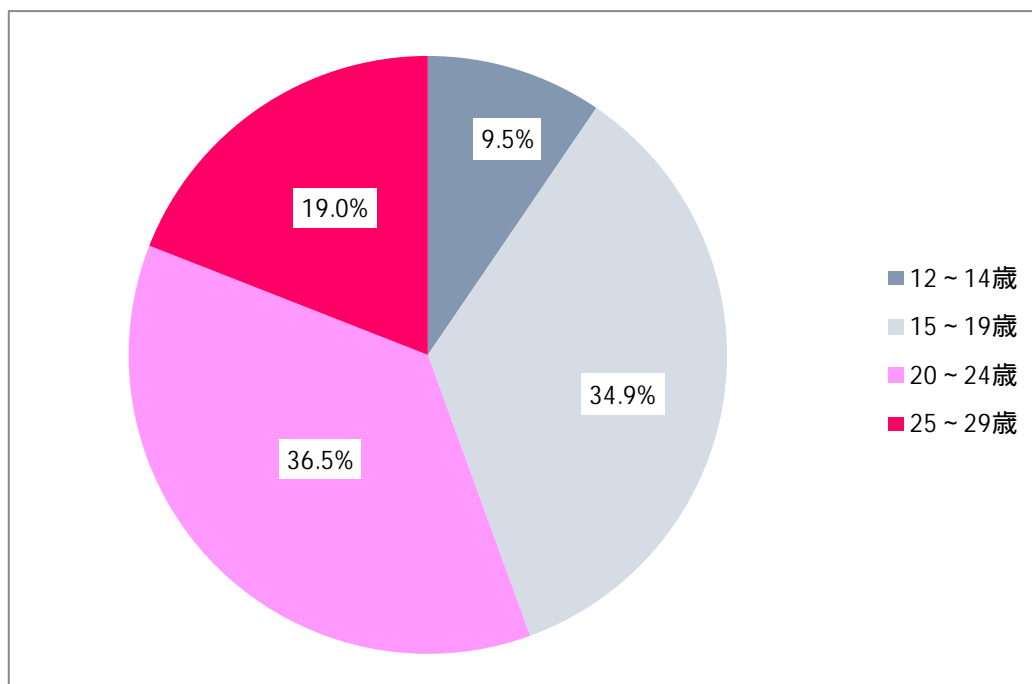
【回答者数】 男性 : 46 名 女性 : 80 名 合計 : 126 名 (配信数 : 262 名、回答率 : 48.1%)

【性別】 男性が 36.5%、女性が 63.5%であった。

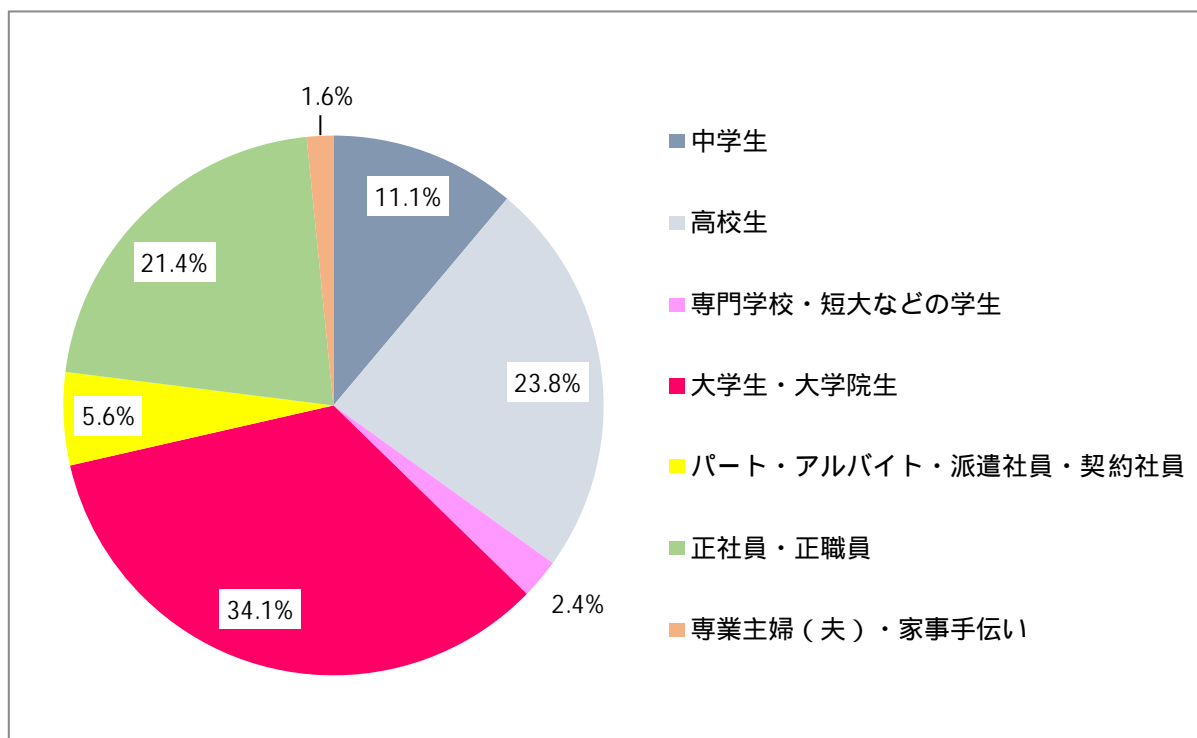


4 平成 30 年度 第 3 回青少年意見募集事業結果

【年齢】 12～14 歳が 9.5%、15～19 歳が 34.9%、20～24 歳が 36.5%、25～29 歳が 19.0%であった。

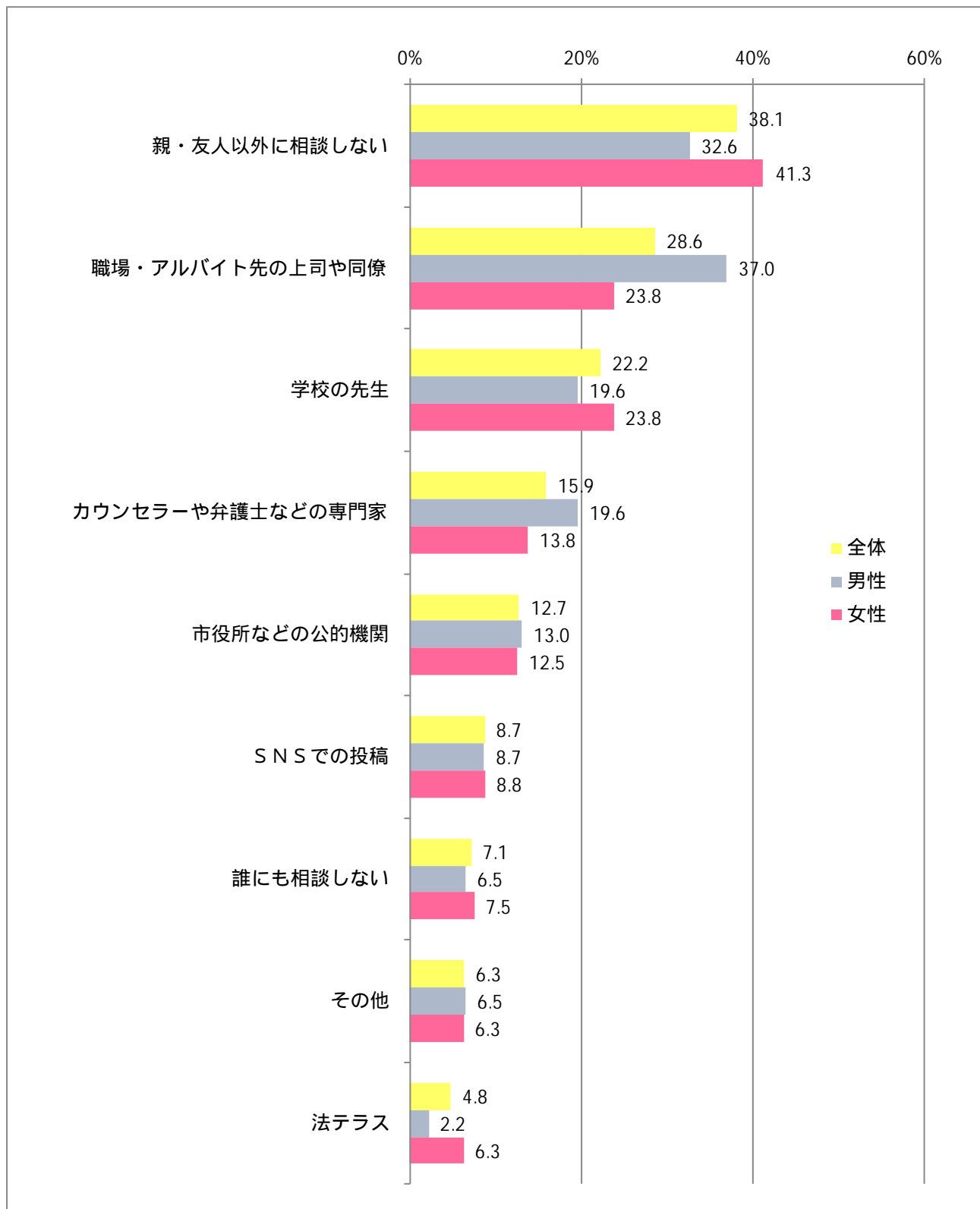


【職業】 中学生が 11.1%、高校生が 23.8%、専門学校・短大などの学生が 2.4%、大学生・大学院生が 34.1%、パート・アルバイト・派遣社員・契約社員が 5.6%、正社員・正職員が 21.4%、専業主婦（夫）・家事手伝いが 1.6%であった。



4 . 集計結果

質問 1 - 1 学校、職場、アルバイト先等でトラブルがあった場合に、親・友人以外に誰（又はど
ういうところ）に相談しますか。（複数回答可）



6 平成30年度 第3回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全体	親・友人以外に相談しない	職場・アルバイト先の上司や同僚	学校の先生	カウンセラーや弁護士などの専門家	市役所などの公的機関	SNSでの投稿	誰にも相談しない	その他	法テラス
全体	126 100.0	48 38.1	36 28.6	28 22.2	20 15.9	16 12.7	11 8.7	9 7.1	8 6.3	6 4.8	
性別	男性	46 100.0	15 32.6	17 37.0	9 19.6	9 19.6	6 13.0	4 8.7	3 6.5	3 6.5	1 2.2
	女性	80 100.0	33 41.3	19 23.8	19 23.8	11 13.8	10 12.5	7 8.8	6 7.5	5 6.3	5 6.3
年齢	12～14歳	12 100.0	8 66.7	1 8.3	3 25.0	2 16.7	2 16.7	-	-	-	1 8.3
	15～19歳	44 100.0	20 45.5	5 11.4	14 31.8	2 4.5	2 4.5	4 9.1	4 9.1	1 2.3	2 4.5
	20～24歳	46 100.0	11 23.9	21 45.7	9 19.6	12 26.1	6 13.0	7 15.2	4 8.7	3 6.5	1 2.2
	25～29歳	24 100.0	9 37.5	9 37.5	2 8.3	4 16.7	6 25.0	-	1 4.2	4 16.7	2 8.3
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-
	男性-15～19歳	14 100.0	9 64.3	1 7.1	4 28.6	-	1 7.1	1 7.1	-	-	-
	男性-20～24歳	17 100.0	1 5.9	9 52.9	3 17.6	7 41.2	3 17.6	3 17.6	2 11.8	1 5.9	-
	男性-25～29歳	13 100.0	3 23.1	6 46.2	1 7.7	2 15.4	2 15.4	-	1 7.7	2 15.4	1 7.7
	女性-12～14歳	10 100.0	6 60.0	-	2 20.0	2 20.0	2 20.0	-	-	-	1 10.0
	女性-15～19歳	30 100.0	11 36.7	4 13.3	10 33.3	2 6.7	1 3.3	3 10.0	4 13.3	1 3.3	2 6.7
	女性-20～24歳	29 100.0	10 34.5	12 41.4	6 20.7	5 17.2	3 10.3	4 13.8	2 6.9	2 6.9	1 3.4
	女性-25～29歳	11 100.0	6 54.5	3 27.3	1 9.1	2 18.2	4 36.4	-	-	2 18.2	1 9.1
属性	中学生	14 100.0	9 64.3	1 7.1	3 21.4	2 14.3	2 14.3	-	1 7.1	-	1 7.1
	高校生	30 100.0	14 46.7	-	11 36.7	1 3.3	1 3.3	4 13.3	3 10.0	1 3.3	2 6.7
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-
	大学生・大学院生	43 100.0	14 32.6	15 34.9	12 27.9	12 27.9	4 9.3	5 11.6	3 7.0	3 7.0	-
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	7 100.0	3 42.9	3 42.9	-	2 28.6	-	-	-	-	1 14.3
	正社員・正職員	27 100.0	6 22.2	15 55.6	2 7.4	3 11.1	6 22.2	1 3.7	2 7.4	3 11.1	1 3.7
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 182

全体で見ると、「親・友人以外に相談しない」と回答した割合が38.1%と最も高く、次いで「職場・アルバイト先の上司や同僚」が28.6%、「学校の先生」が22.2%の順となった。

年代別で見ると、「12～19歳」は「親・友人以外に相談しない」と回答した割合が最も高く、「20～29歳」は「職場・アルバイト先の上司や同僚」と回答した割合が最も高い。

男女別で見ると、「男性」は「職場・アルバイト先の上司や同僚」と回答した割合が最も高く、「女性」は「親・友人以外に相談しない」と回答した割合が最も高い。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

- z 妻。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z インターネット。(女性 / 18 歳 / 高校生)
- z 知り合いの専門職、労働基準監督署、ネット検索。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- z ホームページで調べる。(女性 / 29 歳 / 専業主婦(夫) 家事手伝い)
- z 当該問題が発生している機関の、問題に関与していない第三者。また、そこに設置されている相談室。
(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z yahoo!の知恵袋。(女性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

(誰にも相談しないと回答された方)「相談しない理由」の具体的な内容として提出された主な意見
自身で考える

- z 誰かが解決してくれるわけではないと思うから。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z もともと自分の話をすることがあまり好きではなく、誰に相談するのかを迷ってしまう。また、誰を信用して話すべきなのかもあまりわからないため、それを考えると相談しなくていいのではないかと
思ってしまう。トラブルはその場で解決することが大切であり、他の人に相談することではないと思
った。(女性 / 18 歳 / 高校生)
- z 自分で対処法や解決策を考えたり、交渉を行うことができるため、ほとんどの場合誰にも相談しない。
(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

相談しても解決にならない

- z 相談しても解決できないのでは、と思ってしまうので。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 言っても解決にならないから。(女性 / 17 歳 / 高校生)

インターネットで調べる

- z 身近なところに相談できる場所を知らない。ネットで調べられるから。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職
員)

その他

- z 『それくらいでトラブルだと思うの?』なんていわれるのが嫌で、怖い。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 悩みによるから。相談していいアドバイスが返ってこないと思ったときは相談しない。(女性 / 16 歳
/ 高校生)
- z 信用できる人がいない。(男性 / 20 歳 / 正社員・正職員)

質問 1 - 2 学校、職場、アルバイト先等でトラブルがあった際に、親・友人以外にどのような手段・場所があれば相談しやすいですか。

インターネット、SNS、LINE、メール、チャット(匿名、無料)

- z SNS のダイレクトメッセージ、学校又は職場の専用カウンター。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z LINE アプリでの相談。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 絶対秘密にしてくれるという前提で、ネット上で相談に乗ってくれる制度があればなあと思います。でも、ネットで相談するからにはしっかりとした相談実績がないと、相談することに抵抗があると思います。また、無料であることは前提であると思います。「医師会やカウンセラーや労働の専門家がチームを組んでいます」という位置づけがあれば信頼できます。一方で、アルバイトの事は校則の関係上、学校には相談できないと思います。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 匿名で気軽に送れるツール。例えば LINE など気軽に送ることができる。さらに相談に乗ってくれる人の情報があるとよりよい。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z LINE など気軽に相談できると良い。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

匿名で相談できる場、交流会、コミュニティ、NPO

- z 気軽に相談できる NPO など。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 匿名で相談しあえることのできる場。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 同じようなトラブルにあった人で作られたコミュニティ。(女性 / 29 歳 / 専業主婦(夫)家事手伝い)
- z 匿名で相談できる手段があれば良い。例えば、メールや電話を使っただけの相談は、その人の個人情報の一部が流れることとなり、抵抗がある。そういったものを使わずに、匿名で相談できたら良い。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)

手紙

- z 手紙。(女性 / 23 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 直接話すことに抵抗があれば、手紙でも相談を受け入れてくれること。(女性 / 16 歳 / 高校生)

電話(匿名、無料)

- z 電話相談。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z プライバシーをしっかり守ってくれる場所だと相談しやすいです。手段としては、電話などもありだと思います。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 匿名で、相談に乗ってくれる、フリーダイヤルで使える電話相談窓口。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 市役所。法律無料相談とかをしている。でも、時間が合わないし、学校から遠くて行けない。法律無料相談できる電話があれば、一番いい。(女性 / 15 歳 / 中学生)

カウンセラー室、相談室、雑談室

- z 無料で専門的なカウンセラーにかかれる場所。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校に通っているの、学校に心理カウンセラーの方がいらっしゃるカウンセラー室のようなものがあるといいと思います。(女性 / 15 歳 / 高校生)
- z 大学内に相談出来る窓口や、カウンセラーなどの対応があればそこを利用したいと思います。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z さわやか相談室(学校の中にあるが、先生ではない人が相談相手になる。)(女性 / 12 歳 / 中学生)
- z 相談室、というよりは雑談室みたいなものがあればいいと思う。入ること自体が何か悩んでいるんだな、と分からないような、気軽に入れる場所が欲しい。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)

カフェ

- z 気軽に寄れる夜遅くまで開いているカフェ的なところ。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)
- z 匿名で聞いて専門家がアンサーしてくれるような掲示板。例えば、弁護士ドットコムなどの記事は参考になる。中高生世代なら、学校の中で「高校内居場所カフェ」のような形で専門職と話せる場。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- z お悩みカフェがあるといいなと思います。カフェだと困った事があった際、気軽に行けると思います。そこに行けば今、自分と全く同じ気持ちの人が沢山いて安心できるし、なにか解決法を知れるなんてこともあるかもしれません。認知症の患者さんがいるご家族の方達が集まるカフェや、がん患者の方達が集まるカフェがあるのはテレビで観たことがあるのでお悩みカフェもぜひ、実現させてほしいです。(女性 / 13 歳 / 中学生)

相談しない

- z トラブルにも様々なこともあるけど、大したことじゃなかったらまず誰にも相談しない。ちょっと大きい事ならば親、友人以外には相談しない。ネットとかを使ってそのようなカウンセリングとか受けても本当に安全か分からないし、記録されるものだから少し不安なところもあると思う。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z どういった手段でも相談しにくい。我慢する。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 親か先生か兄もしくは祖母や祖父等家族にします。ネット社会ではありますが顔も素性もわからない人間は信用できないし悩みを相談するに至らない関係だと思います。(女性 / 14 歳 / 中学生)

その他

- z 駅の近くや学校内など、身近な場所に相談できる所があると不信感もそこまで強くなく相談しやすいです。(女性 / 19 歳 / 高校生)
- z 収益を目的としない公平な中立機関。情報の保管に関して信頼できることが最も重要である。(女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)

質問 1 - 3 学校、職場、アルバイト先等でトラブルがあった際に、親・友人以外にどのような人がいれば相談しやすいですか。

専門家、カウンセラー、アドバイザー

- z その悩みの専門家。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z その道の専門家、いざというときに守ってくれる人。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z プライバシーを保護してくれる、専門知識を持った人。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 専門の人。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 心理士やカウンセラーのような方なら相談しやすいです。また、心療内科の先生と連携出来れば尚良しです。(男性 / 25 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 専門のカウンセラー。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

年上の人、尊敬している人、信頼できる人

- z トラブルの内容によると思うので、一概に「どのような人がいい」の質問には答えられません。ただ、経験豊富な、知識豊かな先輩とかがいればなあと思ったりすることがあります。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 憧れの人、尊敬してる人、自分のために時間を作ってくれる人。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 専門的のところだと相談しにくいので、もっと身近な親戚のおじさんみたいな人。(女性 / 16 歳 / 高校生)

自分のことをよく分かっている人

- z 自分と相手のことをよく知っている人。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 自分をよく分かっている人になら相談したいと思う。話したことのない人には話しにくいからあまり相談したくはない。(女性 / 12 歳 / 中学生)
- z 第三者にはあまり相談したくないです。なぜなら状況説明が難しく、確実にその状況を伝えること、かつ自分の性格を知ってる人の方が納得できるからです。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 自分のことをよく知っている人。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

面識の無い人、無関係の人、第三者

- z 赤の他人や面識がない人。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 相談内容を絶対に漏らさない人。相談内容および人格を否定しない人。本件に関係のない人。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z トラブルがあった場所・機関内部にいるが、実際にトラブルに関係していない人物。トラブルがあった場所・機関の外側からでは、有効な助言が与えられないと思うため。慰めや指導だけでなく、実際に何をしたら問題が解決するのかを一緒になって考えてくれる人物。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校、職場、アルバイト先等に全くの無関係な人が相談しやすい。(男性 / 20 歳 / 正社員・正職員)

同じ様な経験をした人

- z 同じようなトラブルにあった人。(女性/29歳/専業主婦(夫) 家事手伝い)
- z 相談する内容にもよるが、自分の悩みや相談したい内容を実際に体験したような人に相談してみたい。(女性/28歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 過去にトラブルがあり、解決したことがある人。(男性/26歳/大学生・大学院生)
- z 同じような経験をした人か、トラブルの内容にもよるけれど法律関連に強い人がいると心強いと思う。ただ、私自身が女だからということもあるかもしれないが、同じくらいの年代か、もしくは母と同じくらいの年代の女性相手だと話しやすいような気がします。(女性/20歳/大学生・大学院生)

客観的意見を言ってくれる人

- z 客観的な立場だが、基本として自分を助けてくれると言ってくれる人。(女性/21歳/大学生・大学院生)
- z 客観的なアドバイスをくれる第三者的存在。(男性/23歳/大学生・大学院生)
- z 客観的に見てくれる人、自分を守ってくれる人がいい。きっとトラブルが起こった時すごく不安で、無知だからどうしていいかわからないから親身になってゆっくり話を聞いてくれて早急に解決方法を教えてくれる人がいいと思う。(女性/18歳/高校生)
- z トラブル解決への知識が豊富で客観的に実践的なアドバイスをくれる人。情報漏洩をしないと信頼できる人。(女性/24歳/正社員・正職員)

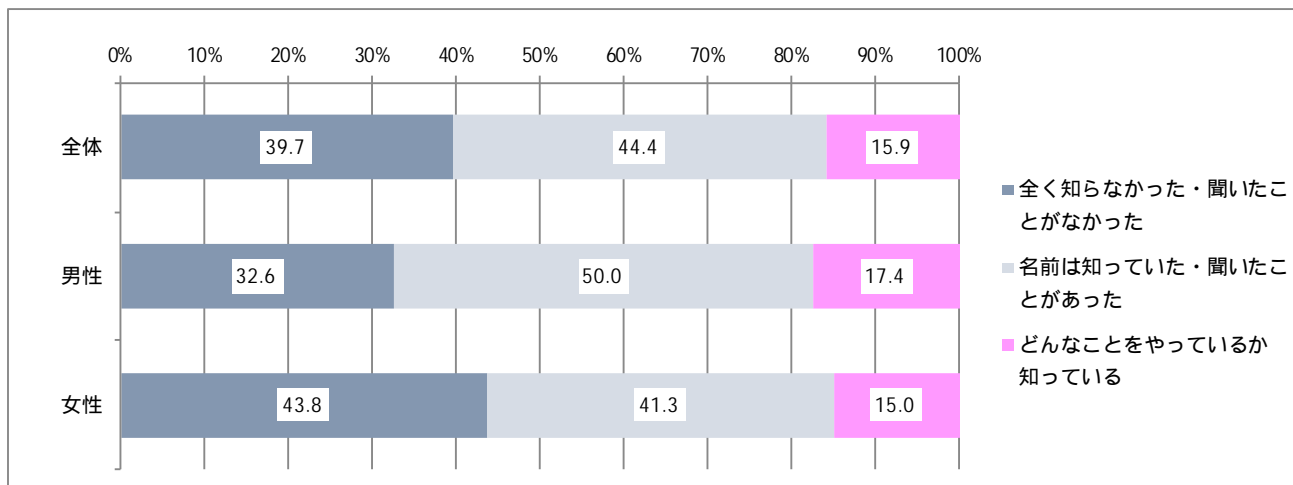
親・友人以外に相談する人がいない、相談しない

- z 親や友人以外、正直相談できないです。勇気がなくて。身近に感じられることができるような人・・・なかなかいないです。(女性/19歳/大学生・大学院生)
- z 今のところ思いつく人は親、友人以外にいません。(女性/14歳/中学生)
- z 誰にも相談しない。(女性/17歳/高校生)

その他

- z AI。(女性/16歳/高校生)
- z 悩み相談に慣れていなくてもいいから、一人一人に寄り添って、わかったような顔をしないで聞いてくれる存在だと相談しやすいと思います。立場は、職場の悩み相談デスクの人、等でしょうか。(女性/23歳/正社員・正職員)
- z シフトの仲間。(女性/23歳/パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z ただただ話を聞いてくれるような人。(女性/18歳/大学生・大学院生)

質問2 - 1 「法テラス」を知っていましたか、または聞いたことがありましたか。



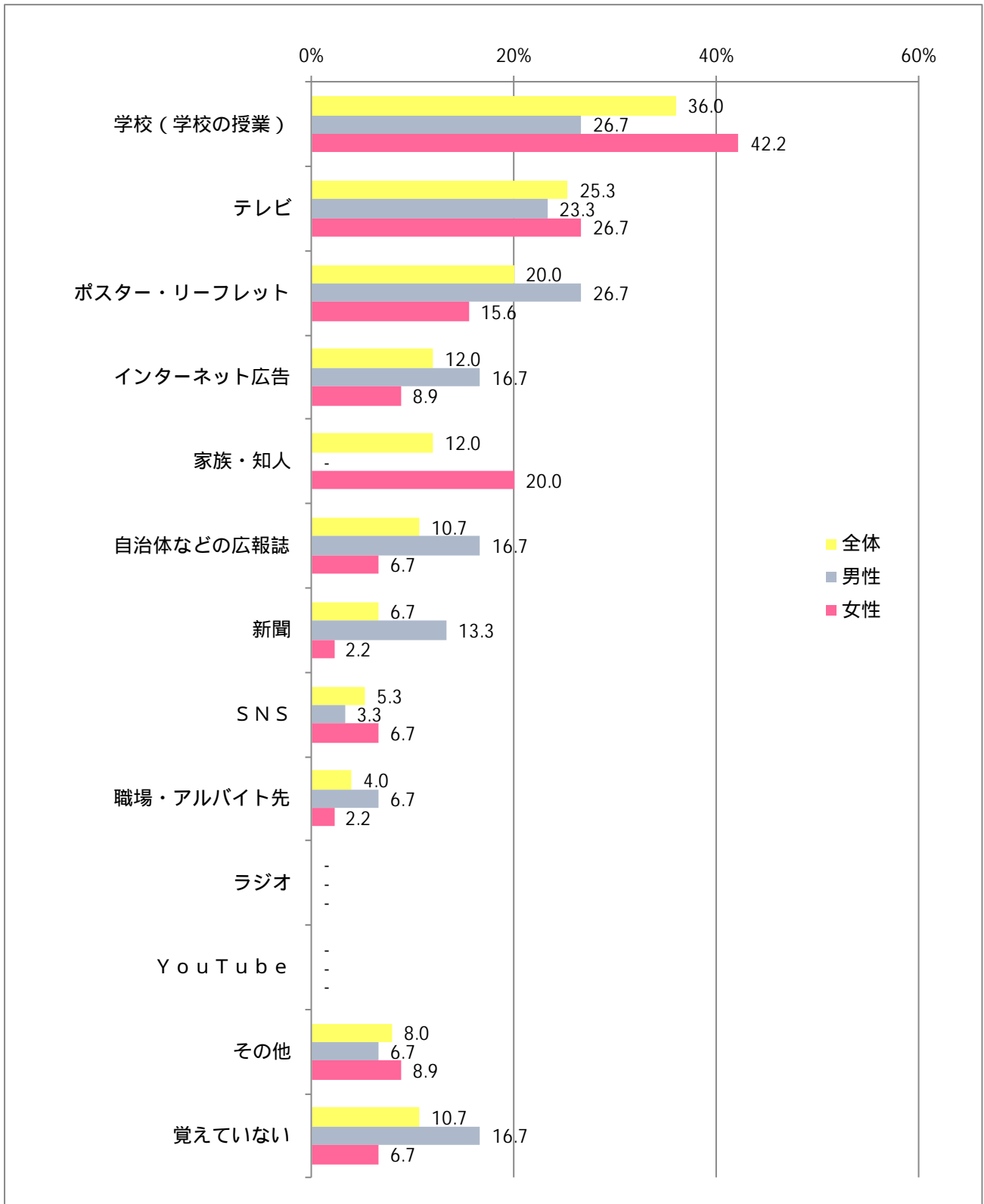
上段：人数 下段：%		全 体	全く知らなかった・聞いたことがなかった	名前は知っていた・聞いたことがあった	どんなことをやっているか知っている
全体		126 100.0	50 39.7	56 44.4	20 15.9
性別	男性	46 100.0	15 32.6	23 50.0	8 17.4
	女性	80 100.0	35 43.8	33 41.3	12 15.0
年齢	12～14歳	12 100.0	9 75.0	2 16.7	1 8.3
	15～19歳	44 100.0	19 43.2	19 43.2	6 13.6
	20～24歳	46 100.0	16 34.8	23 50.0	7 15.2
	25～29歳	24 100.0	6 25.0	12 50.0	6 25.0
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0
	男性-15～19歳	14 100.0	5 35.7	7 50.0	2 14.3
	男性-20～24歳	17 100.0	6 35.3	8 47.1	3 17.6
	男性-25～29歳	13 100.0	3 23.1	8 61.5	2 15.4
	女性-12～14歳	10 100.0	8 80.0	2 20.0	-
	女性-15～19歳	30 100.0	14 46.7	12 40.0	4 13.3
	女性-20～24歳	29 100.0	10 34.5	15 51.7	4 13.8
	女性-25～29歳	11 100.0	3 27.3	4 36.4	4 36.4
属性	中学生	14 100.0	10 71.4	3 21.4	1 7.1
	高校生	30 100.0	14 46.7	14 46.7	2 6.7
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
	大学生・大学院生	43 100.0	15 34.9	17 39.5	11 25.6
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	7 100.0	1 14.3	6 85.7	-
	正社員・正職員	27 100.0	9 33.3	14 51.9	4 14.8
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	-	-	2 100.0
	無業者	-	-	-	-

全体で見ると、44.4%が「名前は知っていた・聞いたことがあった」、39.7%が「全く知らなかった・聞いたことがなかった」、15.9%が「どんなことをやっているか知っている」と回答した。

年代別で見ると、年齢が上がるにつれ「どんなことをやっているか知っている」と回答した割合は高くなった。

男女別で見ると、男性の認知度（「名前は知っていた・聞いたことがあった」+「どんなことをやっているか知っている」）は、女性の認知度より11.1ポイント高い。

質問 2 - 2 (名前は知っていた・聞いたことがあった/どんなことをやっているか知っている
と回答された方)「法テラス」をどこで知りましたか。(複数回答可)



14 平成30年度 第3回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	学 校 （ 学 校 の 授 業 ）	テ レ ビ	ポ ス タ ー ・ リ ー フ レ ット	イ ン タ ー ネ ット 広 告	家 族 ・ 知 人	自 治 体 な ど の 広 報 誌	新 聞	S N S	職 場 ・ ア ル バ イ ト 先	ラ ジ オ	Y o u T u b e	そ の 他	覚 え て い な い	
全体	75 100.0	27 36.0	19 25.3	15 20.0	9 12.0	9 12.0	8 10.7	5 6.7	4 5.3	3 4.0	-	-	-	6 8.0	8 10.7	
性別	男性	30 100.0	8 26.7	7 23.3	8 26.7	5 16.7	-	5 16.7	4 13.3	1 3.3	2 6.7	-	-	2 6.7	5 16.7	
	女性	45 100.0	19 42.2	12 26.7	7 15.6	4 8.9	9 20.0	3 6.7	1 2.2	3 6.7	1 2.2	-	-	4 8.9	3 6.7	
年齢	12～14歳	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-
	15～19歳	24 100.0	11 45.8	5 20.8	3 12.5	1 4.2	1 4.2	-	-	1 4.2	-	-	-	2 8.3	3 12.5	
	20～24歳	30 100.0	12 40.0	11 36.7	5 16.7	5 16.7	3 10.0	4 13.3	3 10.0	3 10.0	-	-	-	3 10.0	3 10.0	
	25～29歳	18 100.0	3 16.7	3 16.7	6 33.3	3 16.7	4 22.2	4 22.2	2 11.1	-	3 16.7	-	-	-	-	2 11.1
性別×年齢	男性-12～14歳	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性-15～19歳	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5	2 25.0
	男性-20～24歳	11 100.0	5 45.5	4 36.4	1 9.1	3 27.3	-	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-	-	-	1 9.1	1 9.1	
	男性-25～29歳	10 100.0	-	1 10.0	5 50.0	1 10.0	-	4 40.0	2 20.0	-	2 20.0	-	-	-	-	2 20.0
	女性-12～14歳	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
	女性-15～19歳	16 100.0	9 56.3	3 18.8	2 12.5	-	1 6.3	-	-	1 6.3	-	-	-	-	1 6.3	1 6.3
	女性-20～24歳	19 100.0	7 36.8	7 36.8	4 21.1	2 10.5	3 15.8	3 15.8	1 5.3	2 10.5	-	-	-	-	2 10.5	2 10.5
	女性-25～29歳	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	-	-	-	1 12.5	-	-	-	-	-
属性	中学生	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0
	高校生	16 100.0	7 43.8	2 12.5	3 18.8	1 6.3	1 6.3	-	-	1 6.3	-	-	-	1 6.3	2 12.5	
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
	大学生・大学院生	27 100.0	13 48.1	13 48.1	4 14.8	2 7.4	2 7.4	3 11.1	3 11.1	-	-	-	-	4 14.8	1 3.7	
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-
	正社員・正職員	18 100.0	5 27.8	2 11.1	4 22.2	5 27.8	1 5.6	4 22.2	2 11.1	2 11.1	2 11.1	-	-	-	-	3 16.7
	専業主婦（夫）、家事手伝い	2 100.0	-	-	1 50.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 113

全体で見ると、「学校（学校の授業）」と回答した割合が36.0%と最も高く、次いで「テレビ」が25.3%、「ポスター・リーフレット」が20.0%の順となった。

年代別で見ると、「12歳～24歳」では「学校（学校の授業）」と回答した割合が最も高く、「25～29歳」では「ポスター・リーフレット」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男女とも「学校（学校の授業）」と回答した割合が高かった。

質問 2 - 3 (名前は知っていた・聞いたことがあった / どんなことをやっているか知っている
と回答された方) 「法テラス」のイメージを教えてください。

堅苦しい・敷居が高い・相談しづらい

- z スーツ姿の人が対応して、弁護士のような感じでお堅いイメージ。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 若者が行く場所ではなさそう。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 入りづらい。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 気軽に相談できると言われても情報が少ないので相談しづらい。(女性 / 15 歳 / 高校生)
- z 専門家の方がしっかり対応してくれる場というイメージですが、学生などからすると中でどんな風に対応してもらえるのかよく分からなかったり、専門家であるという所に壁を感じ、実際に訪れづらいと思います。特に一人でふらっと入れるような感じではないと思います。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

法律・トラブル等の相談にのってくれる場所

- z 例えば経済的に厳しい人など、すべての人が比較的手軽に法的なサービスを受けることができる。弁護士に、無料で相談をすることができるというイメージがある。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 簡単な法律の相談に乗ってくれる場所。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 法律について無料相談できる。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

頼りになる・相談しやすい

- z ほかの公的な機関より相談しやすそうなイメージ。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 法律関連で困った時に、どこかで弁護士事務所などを探すよりも、気軽に尋ねていける場所のイメージ。だが、なんとなく大人の人が、深刻な話題でいくイメージもある。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z はじめて知ったのは小学生の時です。父親が保証人になりそのトラブルで利用していたので。相談できる場所で母親もとても助かると話していました。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 困ったときに頼ることができ、味方となるような機関。(女性 / 17 歳 / 高校生)

詳しくはわからない

- z 授業で聞いたことあるくらいで詳しくはわからない。言葉のイメージとしては「法」という文字がつくため難しそうな単語に聞こえる。「テラス」に関してはまったくイメージできない。(女性 / 19 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z あまり良く分かりません。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 実態や活動内容は、よく分からない。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 教科書に法テラスという言葉しか載ってなかったので、実際にどのようなものなのかよく分からない。イメージとしては、学校のカウンセラー室を大きくした感じ。(女性 / 15 歳 / 高校生)

その他

- z 大学の近くで看板を見たような気がする。また、10 年くらい前に高校の教科書で「法テラス」を設置したという記述があった。身近なイメージはない。(女性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- z 活動内容を知ってはいたが、積極的に利用しようとは思えない。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

質問 3 「法テラス」を同年代の若者により広めるために、広報活動にどのような工夫が必要だと思いますか。「法テラス」を知らなかったみなさんは、どのような手段であれば「法テラス」について知ることができたと思いますか。

若者が利用する場所・ウェブサイトでの広告

- z YouTube やインターネット広告で法テラスの広告を見たことがない。予算がどのくらいかわからないが、ターゲティングに予算を割けば「若い人」が見る広告になると思う。なぜ、若くない世代は知っているかということも調べればより効果的な告知のヒントになると思う。(女性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- z まずは若者が集まる場所で広報活動を行うことが重要だと思います。またその際も、若者が遭いやすいトラブル事例を挙げて広報の方が効果的だと思います。(女性 / 27 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 広告として広報してもあまり、詳しく知りたいという人は少ないと考えます。なので、YouTube の非常に短いスキップできない動画広告がいいのかなと考えます。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z SNS など、10 代の人々がよく利用するスマートフォンアプリに広告を設ける。(女性 / 16 歳 / 高校生)

広告内容の検討(わかりやすい・堅苦しくない)

- z 広告頻度を増やしたほうがいい。内容は若者が親しみやすいような感じに。良ければ口コミも広がるだろうし、参加しやすいことを大々的に出す、とか。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- z 同年代の友人なども自分と同じで、親や友人以外にはあまり相談事をしないという感じなので、「法テラス」をわかりやすく説明して、実際の相談イメージなどがよくわかるようなサイトを作るとよいのではないかと思う。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 具体的にどのような相談ができ、どのように解決したかを広報する。(男性 / 26 歳 / 大学生・大学院生)
- z 若者はお金がない。でも、トラブルを起こしがちなので、お金がなくても、トラブルを解決に近づける専門家がいる、という広報をしてほしい。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

テレビ CM、ドラマ・映画等の活用

- z Twitter やネットなどの広告は真面目に見る人と見ない人で大きく分かります。特に若い世代は無視する場合も少なくありません。チラシも同様です。より多くの若者に効果的なのは、多くの若者が注目するバラエティやドラマの間の CM で定期的に告知することを推奨します。私の場合、Twitter などの SNS はほとんど使っておらず、ネットの広告などもまともに見ないことが多いですが、テレビの CM はその後続く番組を見逃さないためにしっかり見ます。故に、若者の関心がより集中した場所を狙って告知することが大切と考えます。(女性 / 19 歳 / 高校生)
- z スマホなどの媒体の場合、例えスマホを持っていたとしても、YouTube や Twitter をやっている人は全てではない、というのが私の初見の意見です。スマホよりも、毎日目にする人が多いテレビの CM

の方が効果があるように思います。学校でもよく、テレビの CM の話はよく話題に上がります。使用する歌や起用する人、キャッチフレーズとなるような特徴的なものがあれば、より若者の間でも広がると思います。また、最近は Instagram が流行っているので、Instagram での広告も有効だと思います。(女性 / 17 歳 / 高校生)

- z ドラマの中で法テラスに行くシーンがあり、存在を知りました。なので映画やドラマなど若い人が見そうな番組の中でそのワードを用いるのもいいのではないかと思います。また法テラスという場所があっても正直生活していて関わりがないので、学校に業務の説明に行くだけではなく支部のような形で運営してみるのも知ってもらえる手段になるのではないのでしょうか。また社会科見学などで見学に行くというのはどうでしょうか。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 若者によく知られている芸能人・タレントを起用した CM などを作り、若者が関心を向けやすくするのがいいと思う。(女性 / 17 歳 / 高校生)

有名人(タレント・政治家等)とのコラボレーション

- z 何かアニメとコラボ、など……?最近ではテレビを見たりネット検索をすることも少なくなっているので、積極的に情報を集めようとする若者は少ないかもしれません。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 同年代の有名人(アイドル、モデルなど)が実際に利用してみて、その意見を写真付きで載せる。(女性 / 29 歳 / 専業主婦(夫)、家事手伝い)
- z 私の考えでは、いまの Twitter はその個人がフォローしているアカウント内容しか表示しません、また YouTube も検索をかけないと出てきません。意見としては、有名人に法テラスの大使として、宣伝を行うことを勧めます。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 若者に人気の女優や俳優さんに協力してもらってポスターを作る。ニュースアプリに広告として出す。(女性 / 16 歳 / 高校生)

ポスター、チラシの設置

- z 電車内でのポスターや映像を利用する。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 全ての人インターネットを利用しているわけではないので、ポスターなどを作って、もっとたくさん広めたり、教科書にものせてみたらいかがでしょうか。(女性 / 12 歳 / 中学生)
- z 図書館へのリーフレットの設置やできればポスターを貼って欲しい。勉強したり、気分転換に本を探しに行ったりとかで図書館はよく利用されるから。電車の中のみり広告や映画館や電話ボックスも。日常、普通に目に触れるルートに広告があるのが肝心だと思う。(女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

学校での授業、広告配布

- z 訴求効果が高いため、学校内でチラシを配布したり、ポスター、デジタルサイネージなど、学校内で宣伝するのが一番だと思う。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 学校の先生と連携して、広報してもらおう。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 大学や高校で出張講義を実施することが良いと思われます。(男性 / 25 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

疑似体験・体験者の声

- z まず効用が分かりません。同じようなサービスはよくありますが、職場や学校で聞いても、記憶にはあまり残らず、連絡するためしはありません。効用がわからなくても、相談しようと思うほど、追い詰められたことがないからかもしれません。やはり使った人の声が必要と思います。具体的な事例と共に、相談したいと思えるのが、「知る」への一歩ではないでしょうか。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 実際に一度使わせればよい(疑似体験)。周知を受けても、それが自分と関係すると思わなければ忘れる。必要な時に思い出せなければ、周知は意味がない。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

検索結果の上位表示

- z 自殺対策と同じく、インターネットで法律問題に関するワードの検索があったとき、一番上に法テラスの紹介があれば分かりやすい。職場と学校での掲示、自治会から回ってくる広告などアウトリーチも重要と考える。掲示物に簡単な事例や具体例があるとより相談しやすい。(男性 / 21 歳 / 正社員・正職員)
- z 困っている若者はまずネットで検索すると思う。そこで常に上の方でヒットするようであれば、困っている人は見ると思う。そのため無理に知名度だけを上げる必要はそこまでないと思うが、例えば大学のオリエンテーションでチラシを配布する、LINE のポイントがもらえるような広報手段を用いるなども手ではないかと思う。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

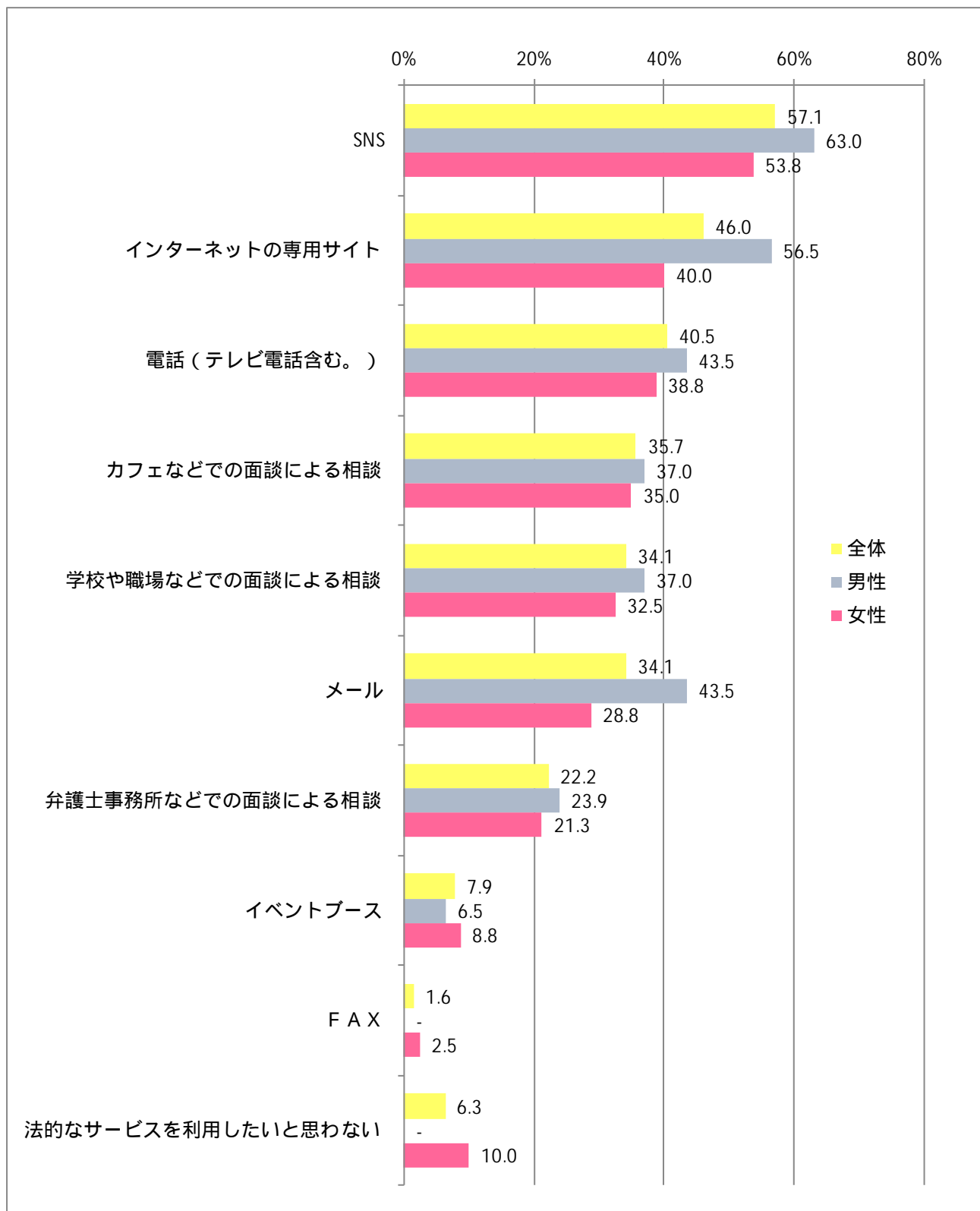
SNS 全般の利用

- z ネットニュース。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)
- z LINE ニュースにあげる。(男性 / 22 歳 / 正社員・正職員)
- z LINE の無料スタンプで宣伝すると効果があると思う。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)

その他

- z 法テラスという言葉が少し堅苦しいような気がします。もっと若者が親しみやすい名前に変えるべきなのではないでしょうか。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z そういった活動があることを全く知らない。学校でもそういった単語すら出てきたことがない。リーフレットが配られているのか知らない。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 名前が堅苦しい。子供でも対応してくれるとは思えない。(女性 / 17 歳 / 高校生)

質問 4 - 1 どのような方法であれば法的なサービスを利用しやすいと思いますか。(複数回答可)



21 平成30年度 第3回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	S N S	イン ター ネッ ト の 専 用 サ イ ト	電 話 (テ レ ビ 電 話 含 む 。)	カ フ エ な ど で の 面 談 に よ る 相 談	学 校 や 職 場 な ど の 面 談 に よ る 相 談	メ ー ル	弁 護 士 事 務 所 な ど の 面 談 に よ る 相 談	イ ベ ン ト ブ ー ス	F A X	法 的 な サ ー ビ ス を 利 用 し た い と 思 わ な い
全体	126 100.0	72 57.1	58 46.0	51 40.5	45 35.7	43 34.1	43 34.1	28 22.2	10 7.9	2 1.6	8 6.3	
性別	男性	46 100.0	29 63.0	26 56.5	20 43.5	17 37.0	17 37.0	20 43.5	11 23.9	3 6.5	-	-
	女性	80 100.0	43 53.8	32 40.0	31 38.8	28 35.0	26 32.5	23 28.8	17 21.3	7 8.8	2 2.5	8 10.0
年齢	12～14歳	12 100.0	6 50.0	4 33.3	8 66.7	3 25.0	6 50.0	5 41.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3	-
	15～19歳	44 100.0	25 56.8	17 38.6	11 25.0	13 29.5	17 38.6	11 25.0	9 20.5	-	-	3 6.8
	20～24歳	46 100.0	29 63.0	24 52.2	24 52.2	17 37.0	13 28.3	20 43.5	13 28.3	3 6.5	1 2.2	2 4.3
	25～29歳	24 100.0	12 50.0	13 54.2	8 33.3	12 50.0	7 29.2	7 29.2	3 12.5	6 25.0	-	3 12.5
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	男性-15～19歳	14 100.0	9 64.3	8 57.1	4 28.6	5 35.7	9 64.3	5 35.7	4 28.6	-	-	-
	男性-20～24歳	17 100.0	12 70.6	10 58.8	9 52.9	5 29.4	5 29.4	8 47.1	5 29.4	1 5.9	-	-
	男性-25～29歳	13 100.0	7 53.8	7 53.8	5 38.5	6 46.2	3 23.1	6 46.2	1 7.7	2 15.4	-	-
	女性-12～14歳	10 100.0	5 50.0	3 30.0	6 60.0	2 20.0	6 60.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-
	女性-15～19歳	30 100.0	16 53.3	9 30.0	7 23.3	8 26.7	8 26.7	6 20.0	5 16.7	-	-	3 10.0
	女性-20～24歳	29 100.0	17 58.6	14 48.3	15 51.7	12 41.4	8 27.6	12 41.4	8 27.6	2 6.9	1 3.4	2 6.9
	女性-25～29歳	11 100.0	5 45.5	6 54.5	3 27.3	6 54.5	4 36.4	1 9.1	2 18.2	4 36.4	-	3 27.3
属性	中学生	14 100.0	7 50.0	4 28.6	10 71.4	4 28.6	6 42.9	6 42.9	3 21.4	1 7.1	1 7.1	-
	高校生	30 100.0	20 66.7	16 53.3	7 23.3	9 30.0	12 40.0	7 23.3	8 26.7	-	-	1 3.3
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	2 66.7	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-
	大学生・大学院生	43 100.0	21 48.8	16 37.2	20 46.5	18 41.9	14 32.6	18 41.9	7 16.3	-	1 2.3	3 7.0
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	7 100.0	4 57.1	4 57.1	2 28.6	2 28.6	2 28.6	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-	1 14.3
	正社員・正職員	27 100.0	19 70.4	17 63.0	12 44.4	9 33.3	8 29.6	9 33.3	6 22.2	6 22.2	-	2 7.4
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 360

全体で見ると、「SNS」と回答した割合が57.1%と最も高く、次いで「インターネットの専用サイト」が46.0%、「電話(テレビ電話含む。)」が40.5%の順となった。

年代別で見ると、「12歳～14歳」では「電話(テレビ電話含む。)」と回答した割合が最も高く、「15～24歳」では「SNS」、「25～29歳」では「インターネットの専用サイト」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男女とも「SNS」と回答した割合が最も高かった。

質問 4 - 2 上記以外に、あれば利用しやすいと思うサービス・制度を教えてください。(任意)

LINE、Twitter、チャット、アプリ

- ☒ LINE、Twitter。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- ☒ チャット。(女性 / 25 歳 / 大学生・大学院生)
- ☒ 特別なことをする、という感じだと敷居が高く感じてしまう人も多いと思う。それよりは、いつも使っているカフェや LINE 電話などでの相談ができればより身近な存在として相談できるのではないか。また、アプリなどで若い人でも気軽に相談できるシステムがあれば、より法的サービスを受ける人が増えると思う。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

手紙

- ☒ 小学生の時に配られた人権 SOS のように、悩みを書き込みポストに投函するものは親に相談しにくい事も書きやすい印象がありました。最近はいじめの相談窓口もたくさんありますが、手紙方式なら窓口で相談しにくい子でも法的に対処する手助けをしてもらいやすいと思います。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- ☒ 手紙。(女性 / 23 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

無料(または安価)での相談

- ☒ お金がかかる相談はできない。若者世代の貧困をベースに相談事業の価格設定(無料も前提に)考えて欲しい。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- ☒ 無料または安価であれば利用しやすい。(女性 / 19 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ☒ 中高生はお金がないので、無料の方が受けやすいです。(男性 / 16 歳 / 高校生)

学校・役所・大使館等に窓口設置

- ☒ 大学に常駐してくれたら助かるかもしれません。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- ☒ 出張ブースなど、足を運びやすい専用相談窓口の設置。(女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- ☒ 大使館でサービスや広報を行ってみてはどうか。大使館には、外国籍または帰化した人で法律に関する相談事項をもって来る人が多い。大使館は外交機関でありその国における司法権や捜査権はないが、その国で生活する人にとってはたった一つの頼れる存在であるため、労働や学校関係で頼ってくる人は多い。大使館にビラを置かせてもらったり、一日場所を借りたりすると多くの人が利用しやすくなると思う。(女性 / 27 歳 / 正社員・正職員)

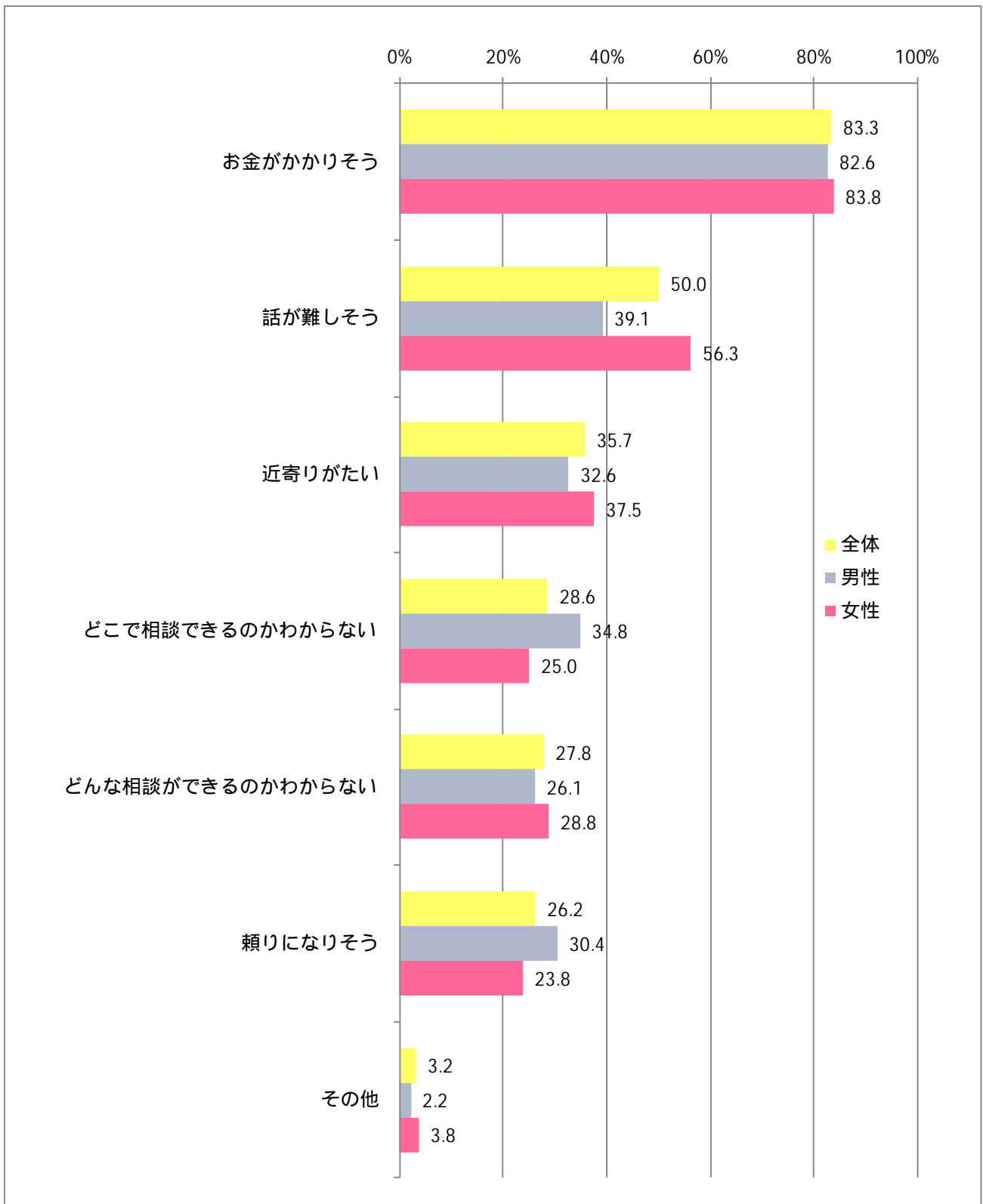
気軽に利用できる

- ☒ 予約するまでのハードルが高いと思うので、予約するときに気軽さが欲しいかもしれません。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- ☒ 気軽に行ける窓口。(女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ☒ スーツじゃなく私服でお話しできると気楽だと思う。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

その他

- z 即座の対応、明朗会計、曖昧な対応をせずきっちり仕事をしてくれる（早い、わかりやすい、強い）。
（男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生）
- z 最初は顔を知らされないようにしてやりたい。（女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生）
- z どういった形でも相談したくない。（女性 / 17 歳 / 高校生）
- z 昼間より夕方から夜に開いていたほうが利用しやすい。（女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生）
- z よっぽどでなければ弁護士を頼むという発想は若い世代にはないと思う。例えば法律を学んでいる学生が練習の一環として相談に乗るということで最終的なコストを抑えられて、また若者にも親近感を与えられるのではないかと思う。（女性 / 29 歳 / 正社員・正職員）

質問 5 「弁護士」や「司法書士」といった、「法律の専門家」に対するイメージを教えてください。(複数回答可)



上段：人数 下段：%		全 体	お 金 が か か り そ う	話 が 難 し そ う	近 寄 り が た い	ど こ で 相 談 で き る の か わ か ら な い	ど ん な 相 談 が で き る の か わ か ら な い	頼 り に な り そ う	そ の 他
全体		126 100.0	105 83.3	63 50.0	45 35.7	36 28.6	35 27.8	33 26.2	4 3.2
性別	男性	46 100.0	38 82.6	18 39.1	15 32.6	16 34.8	12 26.1	14 30.4	1 2.2
	女性	80 100.0	67 83.8	45 56.3	30 37.5	20 25.0	23 28.8	19 23.8	3 3.8
年齢	12～14歳	12 100.0	8 66.7	10 83.3	4 33.3	4 33.3	5 41.7	2 16.7	1 8.3
	15～19歳	44 100.0	33 75.0	22 50.0	22 50.0	14 31.8	12 27.3	13 29.5	-
	20～24歳	46 100.0	43 93.5	19 41.3	9 19.6	11 23.9	14 30.4	15 32.6	2 4.3
	25～29歳	24 100.0	21 87.5	12 50.0	10 41.7	7 29.2	4 16.7	3 12.5	1 4.2
性別×年齢	男性-12～14歳	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-
	男性-15～19歳	14 100.0	9 64.3	8 57.1	9 64.3	5 35.7	3 21.4	5 35.7	-
	男性-20～24歳	17 100.0	16 94.1	4 23.5	2 11.8	8 47.1	6 35.3	7 41.2	1 5.9
	男性-25～29歳	13 100.0	11 84.6	4 30.8	4 30.8	3 23.1	2 15.4	2 15.4	-
	女性-12～14歳	10 100.0	6 60.0	8 80.0	4 40.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0
	女性-15～19歳	30 100.0	24 80.0	14 46.7	13 43.3	9 30.0	9 30.0	8 26.7	-
	女性-20～24歳	29 100.0	27 93.1	15 51.7	7 24.1	3 10.3	8 27.6	8 27.6	1 3.4
	女性-25～29歳	11 100.0	10 90.9	8 72.7	6 54.5	4 36.4	2 18.2	1 9.1	1 9.1
属性	中学生	14 100.0	10 71.4	11 78.6	5 35.7	5 35.7	6 42.9	2 14.3	1 7.1
	高校生	30 100.0	22 73.3	17 56.7	14 46.7	9 30.0	10 33.3	9 30.0	-
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	大学生・大学院生	43 100.0	37 86.0	16 37.2	13 30.2	10 23.3	10 23.3	16 37.2	1 2.3
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	7 100.0	6 85.7	5 71.4	3 42.9	2 28.6	2 28.6	2 28.6	-
	正社員・正職員	27 100.0	25 92.6	11 40.7	7 25.9	8 29.6	6 22.2	3 11.1	-
	専業主婦(夫)、家事手伝い	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	-	1 50.0
	無業者	-	-	-	-	-	-	-	-

複数回答有り：回答数 321

全体で見ると、「お金がかかりそう」と回答した割合が 83.3%と最も高く、次いで「話が難しそう」が 50.0%、「近寄りやすい」が 35.7%の順となった。

年代別で見ると、「12 歳～14 歳」では「話が難しそう」と回答した割合が最も高く、「15～29 歳」では「お金がかかりそう」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男女とも「お金がかかりそう」と回答した割合が最も高かった。

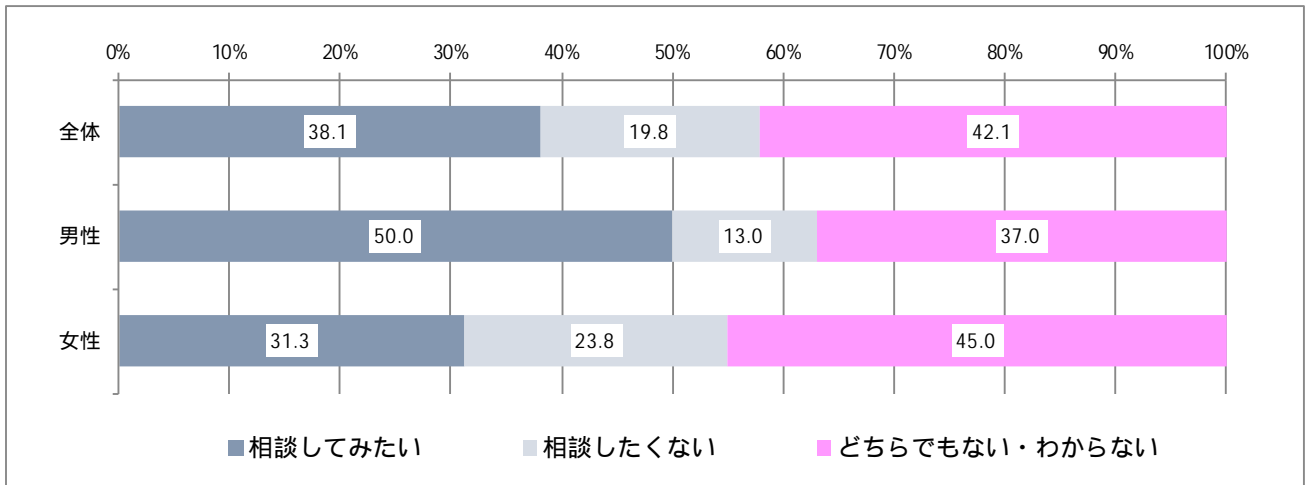
「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

頭が良い・堅い

⌘ 頭がよくて難しい言葉を使いそう。(女性 / 13 歳 / 中学生)

⌘ すごい堅いイメージです。(女性 / 20 歳 / 専門学校・短大などの学生)

質問6 - 1 困ったことがあったら、法律の専門家である「弁護士」や「司法書士」に相談してみたいと思いますか。



上段：人数 下段：%		全 体	相 談 し て み た い	相 談 し た く な い	ど ち ら で も な い ・ わ か ら な い
全体	126	100.0	48	25	53
性別					
男性	46	100.0	23	6	17
女性	80	100.0	25	19	36
年齢					
12～14歳	12	100.0	2	4	6
15～19歳	44	100.0	11	11	22
20～24歳	46	100.0	25	8	13
25～29歳	24	100.0	10	2	12
性別×年齢					
男性-12～14歳	2	100.0	1	1	-
男性-15～19歳	14	100.0	4	4	6
男性-20～24歳	17	100.0	14	1	2
男性-25～29歳	13	100.0	4	-	9
女性-12～14歳	10	100.0	1	3	6
女性-15～19歳	30	100.0	7	7	16
女性-20～24歳	29	100.0	11	7	11
女性-25～29歳	11	100.0	6	2	3
属性					
中学生	14	100.0	3	4	7
高校生	30	100.0	7	9	14
専門学校・短大などの学生	3	100.0	1	-	2
大学生・大学院生	43	100.0	21	7	15
パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	7	100.0	1	1	5
正社員・正職員	27	100.0	13	4	10
専業主婦(夫)、家事手伝い	2	100.0	2	-	-
無業者	-	-	-	-	-

全体で見ると、42.1%が「どちらでもない・わからない」、38.1%が「相談してみたい」、19.8%が「相談したくない」と回答した。

年代別で見ると、年齢が下がるにつれ「相談したくない」と回答した割合は高くなった。

男女別で見ると、女性は「相談したくない」と回答した割合が、男性より10.8ポイント高い。

質問 6 - 2 上記を選択した理由を教えてください。

「相談してみたい」を選択した理由

知識をもった専門家の意見を聞いてみたい

- z 専門家であるため、安心できるし、信憑性の高い情報を得られる。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 専門家に相談した方が解決は早いと思うから。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 専門家からの回答を得て、法的な解決手段を知るため。(女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- z 法律の立場から自分の抱えているトラブルがどのようにみられるのかを知りたいから。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 専門家の意見を積極的に聞いてみたいです。しかし、よく実態が分からないので金銭面のことなど心配な点もあります。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 法律家の観点から自分にどのようなオプションがあるのか教えてもらいたい。(男性 / 16 歳 / 高校生)

自分に専門的な知識がない

- z 私は法律に関して知識がないので、自分で解決できないようであれば弁護士や司法書士に頼りたい。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 何らかの問題に対して、自らの法的知識などには限界があるから。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 法律に関して全くわからない人がどうこうできるとは思えないから。(男性 / 20 歳 / 正社員・正職員)
- z 自分の力や知識では限界があるのでできれば専門家に対処方法を教えてほしい。でもお金がないから相談できない。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

きちんと解決してくれそう

- z 法律という国を律する絶対的なものを知りつくしており、他の人の困ったことも解決しているからです。困っていることを解決してくれるのではないかという、イメージがあります。(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z きちんと解決してくれそうだから。(女性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 法律の専門家であり、かつ法的に問題を解決することで自分のトラブルを円満に解決できる手法を持っていると考えられるため。(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

その他

- z 最初から面識のない事務所へ伺って相談するのは気が引けるし怖いですが、相談しやすければぜひ利用してみたい。(女性 / 29 歳 / 専業主婦(夫) 家事手伝い)
- z 日常生活でなかなか会わないので、そのような機会があれば、有難いと思ったからです。(男性 / 18 歳 / 高校生)

「相談したくない」を選択した理由

堅そう・話が難しそう・身近な存在ではない

- z 怖い存在に思ってしまうから。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- z 近寄りたかったり、話が難しそうなので、いざ相談してみたときに、専門的な話についていけないのか不安だから。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 身近な存在でない。逆に怒られそうで相談できない。相談に対してお金が高額にかかる気がする。(男性 / 15 歳 / 高校生)
- z 身近な人でないから相談したくない。(女性 / 12 歳 / 中学生)

費用が高そう

- z 多額のお金がかかりそうだからです。他に手立てがない場合の最終手段として使いたいです。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)
- z 相談費用がかかりそうだし、自分の周りに相談した人がいなくて近寄りたいたいから。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 費用が高額で横柄な対応をされそうだから。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

事が大きくなってしまう

- z 弁護士や司法書士に相談したら、色々な人を巻き込んで大事になり、かえってややこしくなってくると思うから。(女性 / 15 歳 / 高校生)
- z そこまで大きくする話でもないから。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)

解決できるかわからない

- z 形式的な回答しかないように思える。あまり解決方法にならない(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 弁護士に相談することでどれだけ実効性のある対応策が打てるかわからないのと、自営業ゆえ相談料もまちまちで一般的な相場がイメージしづらいため。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 警察のように「刑」にならないから。と言われそう。(女性 / 16 歳 / 高校生)

その他

- z それほど大きい悩みなのか、どんな人が例えばどんなことを相談しているかわからないから、手を出しにくい。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 自分にはそのような人たちに対して相談できる知識がないように思うから。(女性 / 28 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

「どちらでもない・わからない」を選択した理由

身近な存在ではない・敷居が高い

- z 身近にいない。少し距離のある人。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 頼りになるとは思うが、金銭面や、敷居の高さを感じるため、頼りづらい。(女性 / 17 歳 / 高校生)

費用が高そう

- z 自分一人では対処できないような大きなトラブルを抱えてしまった場合、相談してみたいと思うかもしれないが、恥ずかしさを感じたり、金銭的負担を考えて、結局相談しないことになる気がする。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 解決で得られたお金からかなりとられるようなイメージがある。業務的で冷たそう。自分では大きな問題でも社会的に見るとありふれたことだと思うから。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)

相談する内容なのかの判断が難しい

- z 実際自分の悩みが法に関わっているものであるかが微妙で気軽に相談できない。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 何をどこまで相談できるかよくわかっていない。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

事を大きくしたくない

- z 弁護士と聞くこと、事を大きくしてしまうのではないかと思う。自分が悩んでいることがそこまで大きいことだと思ったことがなく、実際にどのような相談ができるのかもわからない。さらに、まだ学生であるため、お金が関わってくる場合には両親に相談することになり、知られなくないことも知られてしまうことになる。(女性 / 18 歳 / 高校生)
- z どこまで力になってもらえるのか分からないから。話が難しく、大きくなりそうだから。(女性 / 14 歳 / 中学生)

相談する状況になったことがない

- z 今まで法的に対処しなければならぬ場面がなかったから。もしあったとしても敷居が高く少し相談しにくいと思います。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 今の時点では困ったことがないため、相談しようと思わない。むしろ何かあったら相談するのは少し億劫な気もする。かといっていざ何か起こったとすると絶対に行かないと言えるだけの判断材料を持っているわけでもないから。(男性 / 17 歳 / 高校生)

その他

- z 具体的状況に応じて考えたいからです。(女性 / 27 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z どんな仕事かわからないし、あまり、宣伝しておらず、イメージが湧かず不安だから。でも相談者を救おうとする情熱が凄い仕事なのは知っており、信頼はできそう。(女性 / 13 歳 / 中学生)
- z 手続きが難しそうだから。高校生だけでは相手にして貰えなさそうだと思うから。(女性 / 16 歳 / 高校生)